

最近の動き

看護職リカレント教育と看護キャリアサポートセンター紹介



看護キャリアサポートセンター センター長

真継 和子

地域包括ケアシステムの構築が推進され、超高齢社会における医療・看護サービスの需要は増大しています。さらに、医療の質に対する国民意識の高まり、ウィズコロナ・ポストコロナ社会、自然災害等に加え、医療技術の高度化やDX化、グローバル化といった進化する状況への対応など、医療を取り巻く状況は大きな変革期を迎えています。このような変化に対応すべく、誰もが学び続け、生涯にわたって活躍していただける社会の実現に向けた社会人の学び直し、すなわちリカレント教育への期待が高まっています。

度「DX等成長分野を中心とした就職・転職支援のためのリカレント教育推進事業」に申請しました「テラーメイドカリキュラムにより潜在看護師の希望を実現するリカレント教育プログラム」が採択されました。この採択をうけ、2022年7月に看護キャリアサポートセンターが設置されました。当センターは、変化する社会や制度、そして複雑多様化する医療ニーズに応え、地域社会に貢献できる看護人材の育成と看護職のキャリア支援を目的としております。

こうしたなか本学では、文部科学省 令和3年

さて、「テラーメイドカリキュラムにより潜在看護師の希望を実現するリカレント教育プログラ

サマリー：DX等成長分野を中心とした就職・転職支援のためのリカレント教育推進事業

大阪医科薬科大学（Ⅲ）コース 「テラーメイドカリキュラムにより潜在看護師の希望を実現するリカレント教育プログラム」(医療・介護)

地域ニーズ	事業目標	事業実施体制
<ul style="list-style-type: none"> 看護需要の拡大と慢性的な人材不足 大阪府看護職員充足率 74.8% →潜在看護師の復職への期待 慢性期・回復期医療への対応 ウィズ/ポストコロナへの対応 →現状に即した知識とスキルの強化 潜在看護師の復職への不安 働き方・技術的ブランク →キャリアプランの設計 自信と強みの強化 	<p>就職率：80%以上 就職・就業率：80%以上</p> <p>受講者数：20名 部分受講者：200名 受講期間：最短65時間（2カ月）で修了証授与 ※スキルアッププログラム最長180時間（3カ月）</p> <p>潜在看護師が希望する職場に復帰するために必要な知識と技術、さらにワンランク上の自分を目指した新たなスキルを身につけ、地域課題に対応できる実力と自信の獲得を支援するリカレント教育プログラムを提供し、再就職につなげる。</p> <p>到達レベル：日本看護協会看護師ラダーレベルⅡ～Ⅲ</p>	
プログラムの特徴①	プログラムの特徴②	プログラムの特徴③
<p>キャリアコーディネーターによる学び支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 個の目標や活動の方向性に合わせた学びの提案（キャリアプランニング） きめ細やかなメンタルサポートと就職支援 	<p>時間・環境を有効活用したコースの設定と学び方の提案</p> <ul style="list-style-type: none"> 最短65時間で修了証授与 対面、Zoomによるオンライン、オンデマンド授業による学びの機会を確保 <p>保育室完備</p>	<p>学びを定着させる確かな一歩を踏み出すためのプログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ハイブリッドシミュレーターによる状況に応じた看護技術の習得 DXを活用したディブリーフィングによる課題分析とスキルの開発 選択制臨地実習による実践力の強化
<p>テラーメイドカリキュラムによる希望の実現 ライフスタイルに合わせたキャリアアップ支援 テラーメイドの実践強化型カリキュラムの設計</p>		
プログラムの特徴④	<p>ワンランク「上」の私を目指すスキルアッププログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> 選択科目の配置により地域課題に対応できる新たなスキルの習得 	
<p>・学会・学会誌等での事業内容や成果に関する情報発信 ・成果報告書作成と関連団体・病医院・クリニックへの配布 ・近隣大学、病医院等との看護職ネットワークの会（仮）の組織化、及び学習会や相互研修の企画・運営</p>		

テラーメイドカリキュラムにより潜在看護師の希望を実現するリカレント教育プログラム(2022年)

ラム」は、看護師の資格を持ってはいるものの今は看護の仕事に就いていない潜在看護師や非正規雇用の看護師等に対し、就職・転職といったキャリアアップ・キャリアチェンジに向けたプログラムです。看護職をめぐるのは、超高齢社会、今般のCOVID-19への対応等、看護需要は増大しています。しかし、その担い手である看護職の人材不足は慢性化しており、日本看護協会は70万人を上回るとも推計される潜在看護師の再就職への働きかけに力を入れています。

しかしながら、潜在看護師の復職をめぐるのは、医療技術の進歩に対する不安、職場環境への不安、医療事故への懸念、働き方に対する悩みなど、多くの課題を抱えています。そこで当センターでは、こうしたさまざまな課題に対応していけるよう、学び直しを提供し、地域課題に対応できる実力と自信を獲得し、希望する職場への復帰が果たせるよう、個々のライフ

スタイルや働き方に合わせたキャリアアップ支援とテラーメイド実践強化型カリキュラムを展開することとしました。

2022年10月、第1期生を迎え、リカレント教育プログラムがスタートしました。このプログラムの特長は、看護倫理や看護技術などの基礎科目のほか多くの選択科目を配置し、ICT等さまざまな学習形態による授業展開、ハイブリッドシミュレーターによる看護技術演習やデブリーフィングによる課題分析、さらに多様な場での臨地実習による看護実践力の強化です。さらに、キャリアコーディネーターによる学習相談や復職相談など、研修生一人ひとりへのきめ細やかなサポート体制も整えてまいりました。また、大阪府ナースセンターをはじめ、大阪府内の病医院、施設等のご協力により就職相談会の開催も実現しました。そして、約2か月間の研修を終え、20名の研修生が復職への第1歩を踏み



開講式



研修風景



修了式



